

福島県で実施している「県民健康管理調査」の結果（概要）

◎「県民健康調査」の結果（概要）

委員会の目的	健康不安の解消や将来にわたる健康管理の推進等を図るため、専門家による「県民健康管理調査」検討委員会を設置する。(H23. 5. 19)			
委員構成	放射線管理学、放射線医学、公衆衛生学、病理学等			
県民健康管理調査 (基本調査)	1 外部ひばく線量推計 【方法】 自記式質問票(H23.7.11までの4か月間の推計) 【対象】 H23. 3. 11～7月1日県内居住者を対象 約200万人 H23. 3. 11～3月25日県内に一時滞在していた県外居住者			
	区分	対象数	回答数	線量推計済数 推計率(%)
	全県調査	2,056,994	483,088	445,015 92.1
	【結果】 (H25. 7. 31現在)			
	実効線量(mSv)	今回までの推計数(人)	構成割合(%)	
	～1未満	287,103	65.88	99.77
	～2未満	126,184	28.96	
	～3未満	19,541	4.48	
	～4未満	1,374	0.32	
	～5未満	561	0.13	
	～6未満	413	0.09	0.21
	～7未満	241	0.06	
	～8未満	123	0.03	
	～9未満	82	0.02	
	～10未満	43	0.01	
	～11未満	45	0.01	0.02
	～12未満	31	0.01	
	～13未満	14	0.00	
	～14未満	11	0.00	
	～15未満	11	0.00	
	(※1) 15以上～	11	0.00	
	計	(※2) 435,788	100.00	100.00
	※1 最大25.1ミリシーベルト ※2 放射線業務従事経験者を除く 【評価】 これまでの疫学調査により100ミリシーベルト以下での明らかな健康への影響は確認されていないことから、4か月間の積算実効線量推計値ではあるが、「 <u>放射線による健康影響があるとは考えにくい</u> 」と評価される			

県民健康
管理調査
(詳細調査)

1 甲状腺検査の結果概要(H25. 6. 7現在)

【方法】 超音波検査

【対象及び受診者数】 0～18歳までの全県民約36万人(原発事故当時)

	受診者数	結果確定数	進捗状況
H25年度対象市町村	39,927人	16,633人	41.7%
H24年度対象市町村	135,586人	135,173人	99.7%
H23年度対象市町村	41,296人	41,080人	99.5%
合計	216,809人	192,886人	89.0%

【結果】

判定結果	判定内容	平成23年度	H24年度	H25年度
		結果確定数	結果確定数	結果確定数
A1判定	結節嚢胞を認めない	26,063人 (63.4%)	73,961人 (54.7%)	6,799人 (40.9%)
A2判定	5mm以下の結節や 20mm以下の嚢胞	14,803人 (36.0%)	60,259人 (44.6%)	9,721人 (58.4%)
B判定	1.1mm以上の結節や 20.1mm以上の嚢胞	214人 (0.5%)	952人 (0.7%)	113人 (0.7%)
C判定	直ちに二次検査	0人 (0.0%)	1人 (0.0%)	0人 (0.0%)

判定結果の説明

- ・A1、A2判定 : 次回(平成26年度以降)の検査まで経過観察
- ・B、C判定 : 二次検査(日時、場所を改めて通知)
- ・A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合、B判定としている。

2 健康診査

【方法】 一般検診項目

身長、体重、血圧、尿検査、(尿蛋白、尿糖、尿潜血)、血算

[希望による追加項目]血液生化学

【対象及び実施状況】

対象者数	平成23年度			平成24年度		
	15歳以下	16歳以上	全年齢	15歳以下	16歳以上	全年齢
	27,819	182,370	210,189	27,077	184,910	211,987
受診者数	17,934	56,399	74,333	11,780	47,011	58,791
受診率	64.5%	30.9%	35.4%	43.5%	25.4%	27.7%

【結果】

- ・小児の一部においては肥満、高血圧、脂質代謝異常の割合が高い傾向
- ・成人においては肥満、糖代謝異常、脂質代謝異常、肝機能異常の割合が高い傾向

【評価】

- ・平成23年度は余儀なくされた避難生活による運動量の減少やアルコール多飲などを含む食習慣の変化、精神的ストレスや睡眠障害に伴う生活環境全般の変化などの可能性が推測された。
- ・平成24年度は生活環境がやや改善された可能性がある。

3 心の健康度・生活習慣に関する調査

(1) 平成23年度こころの健康度・生活習慣に関する調査

【方法】 質問票による調査 医師、臨床心理士、保健師等による電話支援

【対象】 避難区域住民 : 210, 189人

【調査時期】 H24. 1月～

【結果】 調査票回収数 : 92, 314人(回答率 43. 9%)

【支援状況】

要支援者数 : 17, 512人(要支援率 8. 3%)

支援件数 : 6, 722人(支援済率 38. 4%)

- ・臨床心理士(3名)等による電話による支援
- ・専用相談ダイヤルの設置
- ・こころのケア手帳「ほっと安心手帳」の送付

(2) 平成24年度こころの健康度・生活習慣に関する調査(H25. 7. 31現在)

県民健康
管理調査

【方法】 質問票による調査 医師、臨床心理士、保健師等による電話支援

(詳細調査) 【対象】 避難区域等住民 : 211, 615人

【調査時期】 H25. 2月上旬～

【結果】 調査票回収数 : 66, 014人(回答率 31. 2%)

【支援状況】

要支援者数 : 4, 677人(要支援率 7. 1%)

支援件数 : 4, 006人(支援済率 85. 6%)

4 妊産婦に関する調査

(1) 平成23年度

【方法】 質問票による調査

【対象】 16, 001人 (H22. 8. 1～H23. 7. 31までに母子手帳交付された方)

【調査】 H24. 1月に郵送により調査をこおなった。

【結果】 調査票回収数 9, 316人(回収率 58. 2%)

支援件数 1, 401人(要支援率15. 0%)

支援者に対して、電話及びメールにて支援を行っている。

(2) 平成24年度(H25. 6. 30現在)

【方法】 質問票による調査

【対象】 14, 516人 (H23. 8. 1～H24. 7. 31までに母子手帳交付された方)

【調査】 H24. 12月に郵送により調査をこおなった。

【結果】 調査票回収数 6, 913人(回収率 47. 6%)

支援件数 1, 059人(要支援率15. 3%)

支援者に対して、電話及びメールにて支援を行っている。

◎「県民健康管理調査」以外の検査等

1 福島県におけるホールボディカウンタによる内部被ばく検査について

【実施主体】

福島県保健福祉部

【測定機関】

県(直営)、日本原子力研究開発機構、総合磐城共立病院、南相馬市立総合病院
新潟県放射線検査室、広島大学病院、長崎大学病院、弘前大学病院

【検査内容】

ホールボディカウンタによる内部被ばく線量の測定

【対象者】

18歳以下の子ども、妊婦を優先に検査を実施

【結果】

検査人数:149,592人(H23.6.27~H25.8.31)

検査結果(預託実効線量):1ミリシーベルト未満	149,566人(99.98%)
1ミリシーベルト	14人(0.009%)
2ミリシーベルト	10人(0.007%)
3ミリシーベルト	2人(0.001%)

【評価】全員、健康に影響が及ぶ数値ではない。

2 福島県における小児甲状腺被ばく調査について

【実施主体】

原子力災害対策本部事務局

【調査概要】

平成23年3月23日のSPEEDIを踏まえ、原子力安全委員会緊急技術助言組織より、特に感受性の高い小児への健康影響をより正確に把握するため、屋内退避地域あるいはSPEEDIを用いた試算(3月23日公表分)で甲状腺の等価線量が高いと評価された地域の小児の甲状腺線量を原子力災害対策本部事務局に依頼した。

【対象者数】

1,080人(いわき市、川俣町及び飯舘村に居住する0歳から15歳までの小児)

【調査期間】

平成23年3月26日(土)から30日(水)

【測定方法】

「緊急被ばく医療ポケットブック」(平成17年3月:財団法人原子力安全研究協会)の「頸部甲状腺に沈着した放射性ヨウ素の測定」に基づきNaI(Tl)シンチレーションサーベイメータを用いて実施した。

【結果】

小児甲状腺被ばく調査を実施した0歳から15歳までの1,080人の小児については、スクリーニングレベルである毎時0.2マイクロシーベルト(一歳児の甲状腺等価線量として100ミリシーベルトに相当)を超えるものはなかったと発表した。